

## 山梨南ブロック交流研究会

情報交換を通して、小中4校の望ましい連携のあり方を探ろう。

### I 主題設定の理由

同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域がかかえる教育課題を共有し、その解決に向けた交流を図っていく。

### II 研究の内容

昨年度の反省を生かし、1回目は、地域を知るという面からも視察研修を行う。  
2回目は、講演会、3回目は、授業参観を行い、交流を深めた。

#### 【第1回】 8/7（金） 13:30～ 根津記念館

- ・ 地域教材の発掘ができ、児童・生徒に自信を持って教えることができる。
- ・ 4校の教員をそれぞれ3グループに分け、見学をしながら交流を図る。
- ・ 市の方が、詳しく根津記念館の説明をしてくださったので、根津記念館のことがよく分かった。

#### 【第2回】 11/4（水） 加納岩小学校 15:30～

県中央児童相談所 相談福祉司 出口恵子様

「児童相談所からみた子どもを取り巻く現況と課題」

- ・ 子どもを取り巻く環境が多様化する中で、現状を知る良い機会になった。

#### 【第3回】 1/13（水） 山梨南中学校 授業研

- ・ 1学年のクラスの授業を参観した。授業時間を6校時帯に設定してくれたので、子どもの授業を5校時まで行い、参観することができ、ありがたかった。

### III 成果と課題

#### 1. 成果

- ・ 第1回の根津記念館の視察研修は、有意義であった。これまで近くにありながら多忙で足を運ぶ機会がなかったが、地域の教材を発掘する（地域の偉人を知る）という意味でも詳しく説明してもらうことができ、よかった。生徒に自信を持って勧められるようになった。
- ・ 子どもを取り巻く環境が多様化する中で児童相談所とも連携しなければならない場面もでてくるのが予想されるので、講演会は現状を知る良い機会になった。

- ・ 他校の様子を見せていただき、良かった。特に校種が違っていると、教え方など勉強になることが多く、次の日に実践した内容もあった。
- ・ 中学1年の授業を参観することで、6年生から中1への橋渡しで大切なことを考えることができた。また、子ども達の成長の様子を見ることができた。授業の進め方も小学校時代と随分違うので、ついていけるか心配にもなった。中学校に進学してつまづかないように工夫していかなければならない点もみられたので有意義でした。
- ・ 地域の情報、小中の様子、児相の講演など、いろいろな情報交流ができて良かったと思う。すべてとても有意義であった。
- ・ 臨地研修で、地域の人から地域のことを学び、講演で外部機関からの情報を得て、授業公開で卒業生の頑張りや中学校での様子を知ることができ、とても良かった。無理のないブロック研が行えたと思う。
- ・ 交流会を通して、同地域の教育についてともに考える良い機会となり、小中でわずかでも共通理解を持つことができた。
- ・ 3回の研修が同じ形式ではなく工夫されており、いろいろな情報を得ることができて良かった。特に授業参観は大変参考になった。
- ・ 臨地研修は学校の指導でも役立つので、これからもぜひ行いたい。
- ・ 昨年度までの反省のもとに改善され、毎年授業公開していくという方向で進んだことは良かった。

## 2. 課題

### 【内容について】

- ・ 生徒指導（校内規則等）についても互いに理解を深め、共通に取り組めるところは、取り組んでいきたい。
- ・ 授業後の研究会は、もう少し小中の連携に関わる部分で話し合いができると良かった。

### 【方法について】

- ・ 教育内容が基本的に違うので（特に教科）授業や研究内容について論議することはあまり意味がないと思う。子ども達の生活の実態に基づいた話ができるといいと思う。登下校の様子、休日の過ごし方等小中双方で気になるところを演題にしていくこともいいかもしれない。
- ・ 南中の授業参観はあの形式でよいと思う。ただ、研究会の持ち方は、今までの夏の情報交換会と変わらない。小学校からの意見は、毎年同じ内容で、返答も予想できる。授業についての意見交流の方がよいと思う。
- ・ 全体の討論では、なかなか意見も出にくいので、ある程度小グループで話し合うことも良いと思う。

（ブロック長 古屋 美知子）